

第 5 回 世田谷区介護サービスネットワーク運営委員会

実施日時 令和 8 年 8 月 18 日(火) 18:30~19:10

実施方法 Zoom

参加者 徳永、磯崎、山口、丸山、丸茂、水口、条谷、富樫（國居、イチカワ）

（区）介護保険課事業者支援担当 安田係長

（研修センター）木本センター長 村木

1. 世田谷区介護保険課からの情報提供

発言者：世田谷区介護保険課（安田係長）

【国の情報】

- ・ 介護情報基盤への移行

ケアプランデータ連携システムは介護情報基盤と統合し、「介護保険資格確認等 WEB サービス」へ移行する旨の通知があった（介護保険最新情報 Vol.1529）。来年 1 月に移行予定。

※「ケアプランデータ連携システム」は、「介護保険資格確認等 WEB サービス」への移行後、一定期間が経過した後、稼働を終了する予定。

※介護保険資格確認等 WEB サービスへは、早めに登録を。

- ・ ライセンス料の無料化

移行後のシステム利用費用は、基本的には無料となる方針が正式に示された。

- ・ マイナンバーカードの活用

2028 年 4 月以降、マイナンバーカードによる介護保険の資格確認が始まるという報道もあり、着実な ICT 化の準備が求められている。

【区の情報】

- ・ 登録状況と運用開始

現在、区内のケアプランデータ連携システムの登録事業所数は約半数程度。

<https://www.wam.go.jp/wamappl/kpdrsystop>

区市町村ごとの介護情報基盤の運用開始時期は、介護情報基盤ポータルを参照

<https://www.kaigo-kiban-portal.jp/>

- ・ ICT 研修会の開催：

9 月 28 日(14 時～15 時)に Zoom にて ICT 研修会を開催予定。データ連携システムのデモ機を用いた実演と質疑応答を行う（後日、区内の事業所宛てにメールで周知予定）。

ケアプランデータ連携システム活用促進事業のポータルサイト

ICT 研修会への参加は、下記のサイトから。

[https://sites.google.com/zenkou-](https://sites.google.com/zenkou-lab.co.jp/setagayaku/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0)

[lab.co.jp/setagayaku/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0](https://sites.google.com/zenkou-lab.co.jp/setagayaku/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0)

2. 質疑応答

【質問1】（徳永代表）

マイナンバーカードの導入やシステムの移行に対し、現場が対応できるか不安がある。単独体制のケアマネジャー事業所などへのサポート体制はどうなっているか？

【回答】（世田谷区介護保険課 安田係長）

（国の情報）現在は、全国的な導入支援事業者によるサポート体制が提供されている。

【質問2】(徳永代表)

事業所は今後のスケジュールに不安を抱えているため、区主催の説明会を早めに実施してほしい。

【回答】(世田谷区介護保険課 安田係長)

移行の工程やスケジュール感を正式に表明できるよう、上層部と相談し準備を進める。

【質問3】(世田谷区社会福祉事業団 富樫氏)

現在、区内の登録数が約半数とのことだが、これは「ケアプランデータ連携システム」と「介護保険資格確認等 WEB サービス」のどちらの登録状況か？

【回答】(世田谷区介護保険課 安田係長)

ケアプランデータ連携システムの登録状況である。特別養護老人ホームなどは他サービスとの利用調整が発生しないため同システムの対象外だが、今後の被保険者情報の確認において介護保険資格確認等 WEB サービスへの登録は必要になる。

3. 研修センターからの報告

発言者:木本センター長

- ・ 福社区民学会について

12月13日開催予定の「福社区民学会」における事例発表の募集を締め切ったところ、過去最高の71事例の応募があった。

- ・ 視察の受け入れ

今週金曜日、大阪市議会(17名)が福祉介護人材の確保や定着をテーマに研修センターを視察予定。

- ・ 福祉事業所調査について

今年度の福祉事業所調査において、各事業所で策定されているBCP(業務継続計画)に伴う訓練の実施状況を確認する項目を追加する予定である。

4. 介護サービスネットワークからの連絡事項

発言者:徳永代表

■研修センターの適正利用に関する注意喚起

先月、研修センターの利用において「飲酒を伴う懇親会」が開催されるという不適切な使用事例があった(飲食は可能だが飲酒は不可)。各事業所におかれては、施設の利用規約を遵守し、適正な利用を徹底していただくよう改めてお願いする。

5. 各部会等からの活動報告および意見交換

■ 親睦会の開催と外国籍スタッフとの交流

報告者:梅丘居宅 水口氏

8月7日に豪徳寺にて親睦会を開催し、28名が参加。外国籍のスタッフ(6名)にもご参加いただき、現場の生の声を聞く大変有意義な機会となった。

【意見交換の要旨:外国籍スタッフの就労と交流について】

- ・ みのりの庭 イチカワ氏

外国籍スタッフからは待遇に関する質問が多く出た。彼らは独自のコミュニティを形成しているため、日本人スタッフから積極的に交流を図ることが重要である。また、区内における外国

籍スタッフの就労状況(割合や実態など)を把握できると良い。

- **山口副代表**

参加されていた外国籍スタッフ(中国人やネパール人など)とお話したが、皆様非常に熱心に日本語や介護を学び、努力されている素晴らしい印象を受けた。

- **徳永代表**

日本の文化や安全性を好んで来日・就労している外国籍スタッフも多い。今後、多様な人材と交流していくことが現場においてより一層求められており、今回の親睦会はその良いモデルケースとなった。

■ 多職種交流の推進

報告者: セントケアリまいん世田谷 丸茂氏

玉川部会の有志が「在宅ケアを語る会」に合流し、多職種での懇親と連携を深める活動を行っている。

■ 災害対策小委員会の進捗

報告者: 世田谷区社会福祉事業団 富樫氏

8月4日に準備会を開催し、福祉用具、ケアマネ、移送、看護など各サービスから広く委員を打診・募集している。8月25日に再度準備会を開催予定。一事業所単独では対応が困難な水害等の災害対策について、ネットワーク全体で検討し、中長期的に区へ提言していきたい。

6. その他の報告

発言者: 徳永代表

政党ヒアリングへの参加と提言

立憲民主党や生活者ネットワーク等からのヒアリングに参加し、事業所の現状や現場の課題(処遇改善、災害対策、人材確保、福祉用具へのサポート不足など)について直接意見を伝えている。今後も現場の声を区や行政の施策に反映させるべく発信していくため、各事業所からの意見や要望があれば積極的に寄せてほしい。

次回予定: 令和8年9月15日開催予定(Zoom)